科目ナンバリング	U-LAS03 10001 SB48				
授業科目名<英訳>	外国文献研究（全・英）-E1：国際移住―移民の視点から理解するグローバル化 Readings in Humanities and Social Sciences (All Faculties, English)-E1 :International Migration, Understanding Globalization from an Immigrants’ Perspective		担当者所属職名・氏名	人間・環境学研究科 准教授　徳永　悠	
群	人文・社会科学科目群	分野(分類)	外国文献研究	使用言語	日本語
旧群	C群	単位数	2単位	週コマ数	1コマ
授業形態	演習（対面授業科目）				
開講年度・開講期	2026・前期	曜時限	水1	配当学年	2回生以上
対象学生	全学向				

[授業の概要・目的]

今日、国境を越えた人の移動はグローバル化の中でますます活発化している。日本社会でも外国籍の人々は1990年の107万人から2025年の395万人と4倍近く増えており、移民とその子孫が日本各地で経済や文化の発展に貢献している。一方で、彼らに対する偏見や差別、格差も残っている。この授業では「一般学術目的の英語」（English for General Academic Purposes, EGAP）の力を伸ばすことを目的として、Khalid Koser, International Migration: A Very Short Introduction, 2nd edition (2016)を読む。国際移住に関する英書の講読を通して、国境を越えて人が移動する理由、移民の生活や権利、移民に対する差別、移民に関する政策などについて考察し、移民の視点からグローバル化について英語で理解する力を伸ばす。

[到達目標]

１）現代の国際移住に関する英語の読解力と語彙力を身につける。２）現代の国際移住に関する知識を習得する。３）現代の国際移住について歴史的また構造的に考察して文章化し、積極的に議論する力を養う。

[授業計画と内容]

第1回：授業概要説明
第2回：Chapter 1
第3回：Chapter 2
第4回：Chapter 3
第5回：Chapter 4
第6回：Chapter 5 (pp.48-55)
第7回：Chapter 5 (pp.56-62)
第8回：討論①
第9回：Chapter 6 (pp.63-68)
第10回：Chapter 6 (pp.69-79)
第11回：Chapter 7 (pp.80-88)
第12回：Chapter 7 (pp.89-96)
第13回：Chapter 8
第14回：討論②
第15回：フィードバック（テストや授業内容について質問を受け付ける）

授業（第2～7回、第9～13回）では、教科書の該当範囲について議論する。該当範囲のうち、最も印象に残った段落を一つ選んで翻訳し、その段落を選んだ理由・考察を書き添えた「考察レポート」（A4・1枚、ワード文書）を該当授業前日までにLMSに添付して提出する。授業中は「考察レポー

外国文献研究（全・英）-E1：国際移住―移民の視点から理解するグローバル化(2)へ続く↓↓↓

ト」の内容を発表する（毎回8人程度）。授業の後半はグループに分かれて教科書の内容について議論する。

討論①（第8回）の授業では、教員が指定したオンライン記事を読んで議論する。記事を読み、自分が重要であると考えたテーマについて問題提起した「討論レポート」（A4・1枚、ワード文書）を該当授業前日までにLMSに添付して提出する。記事のリンクについては学期中に案内する。

討論②（第14回）の授業では、受講者各自が見つけた移民をめぐる英語の新聞記事（例Japan Times）を紹介して議論する。新聞記事を読み、自分が関心を持っているテーマについて問題提起した「討論レポート」（A4・1枚、ワード文書）を該当授業前日までにLMSに添付して提出する。

※課題はLMSの「課題」ツールから提出する。

[履修要件]

特になし

[成績評価の方法・観点]

考察レポート：55点（11回×5点）
討論レポート：10点（2回×5点）
期末レポート：35点（1回×35点）

各課題は到達目標3項目の達成度に基づき評価する。授業に遅刻また欠席したり、課題の提出が遅れたりした場合は最終的な成績から減点する。5回以上授業を欠席した場合、期末レポートを提出しなかった場合は成績評価の対象としない（不合格）。

出席は教室のICカードリーダー（出席登録システム）で登録する。「履修の手引き」にあるとおり、ICカードリーダーの出席受付時間は「授業開始15分前から1時間」とする。

この授業における翻訳作業は考察の過程として、そして、英語という言語に直接ふれる機会として重要である。考察レポートの翻訳部分について、自動翻訳サイトなどを利用したことが判明した場合、最終的な成績から大幅に減点する。考察レポートの考察部分、討論レポート、期末レポートは、生身の人間として問いを立てて考える力を磨くことを目的としているため、文章作成のためにAIを利用したことが判明した場合、最終的な成績から大幅に減点する。

[教科書]

Khalid Koser 『International Migration: A Very Short Introduction, 2nd edition』（Oxford University Press, 2016）（必ず「2nd edition」を購入してください。大学図書館データベースでも読むことができますが、手に取って読める書籍として購入することをおすすめします。）

[授業外学修（予習・復習）等]

各提出課題を期限までに準備する。

[その他（オフィスアワー等）]

担当教員の連絡先：ytokunaga28@gmail.com

[主要授業科目（学部・学科名）]